

トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム 留学状況報告書



※留学状況報告書はExcelデータで提出してください。（ファイル名：留学状況報告書_第●期_学生個人番号_学生氏名.xlsx）

●基本情報

学生個人番号	S151N176010001
氏名(漢字)	丹後 カ
氏名(ひらがな)	たんご ちから
所属大学等名	宮崎大学大学院
所属学部/研究科/学科	工学研究科
所属学科/専攻/コース	機械システム工学専攻
課程(▼で選択)	修士
留学修了時の学年(○年)	修士2年
期(○期)	2期
コース(▼で選択)	理系、複合・融合系人材コース
留学開始日(yyyy/mm/dd)	2015/10/26
留学終了日(yyyy/mm/dd)	2016/01/12

●留学の活動概要と成果

活動概要と成果 ※主要な留学先を2か所記入してください。 2か所を超える場合は、ページ下部にある「活動概要と成果（予備）」に記載してください	1	国名	アメリカ
		都市名	Fort Wayne/ Indiana
		受入機関名	Indiana University-Purdue University Fort Wayne
		期間 (yyyy/mm/dd)	79日間
		活動概要と成果	平成27年10月26日～平成28年1月12日の期間で、Indiana University-Purdue University Fort Wayneにおける最先端の研究施設を用いた研究、新たな研究技術の習得と英語力・人間力の向上を目的とした留学を行った。研究テーマは、マイクロ複合工具の台金における電着に関する研究とトヨタ生産方式（TPS）をもとにMITで体系化されたEnterprise Engineering, Creating Sustainable Systems with Collective System Designの研究について学習することを目標とする。 さらに、日本語の通じない環境下に身を投じることで、英語でコミュニケーションをとりながら、最新技術の可能性を探り、英語スキルの更なる向上を目指す。またアメリカの雄大な自然や多種多様な文化にも触れて、世界に対する視野を広げることももう一つの目標とした。今回の留学を通して、世界でエンジニアとして活躍するために必要な英語力の向上が図れたことに加えて、共に討論を行い、自身の意見を述べ相手に伝えることで自信につながった。また、グローバルに活躍することに対してより鮮明なイメージを持つことができた。
	2	国名	
		都市名	
		受入機関名	
		期間 (yyyy/mm/dd)	
		活動概要と成果	

<p>日本発信プロジェクト 活動概要と成果 ※事前課題P22と研修で検討した内容をもとに記載してください</p>	<p>活動タイトル (30文字以内)</p> <p>実行したこと</p> <p>成果・ 気づいたこと</p>	<p>食や身の回りを通した日本文化の発信</p> <p>和食のふるまい、日本及び宮崎の紹介、習字の指導、その人の名前を印象や意味から日本語ネームを作ってあげ（車好きの友人カーティスに、車ーティスというニックネームを付けてあげたら喜んでいて）筆ペンで名札を作ってあげる、折り紙で遊んでみる、日本映画鑑賞会などを行った。日本食はお好み焼き、かつ丼、里芋とイカにつけ、お浸し、味噌汁、湯豆腐、キムチチャーハン、焼きそば、うどん、野菜炒めなど様々なメニューを外国人の友人と食すことができ、国による志向の特徴が見えた。</p> <p>ドリアンやバクチャーなどに比べ日本食には強烈な風味の食べ物が少なく、色々な国の人から気に入ってもらえた。また、納豆の臭いや、イカの外観など見慣れない食べ物や触感などが苦手な人がいることが分かった。同時に、卵かけごはんなどの話もして日本食の安全性を伝えられたので良かった。熱燗や焼酎などを一緒に楽しみ、より日本のことを多くの人に知ってもらえた。常に筆ペンを持ち歩き、日本の名前をみんなにつけて筆ペンで書いた際、日本好きの人が意外と多いことに気づいた。一方、良さがきちんと伝わっていないこともまだまだあるのだなと思った。例えば、卵かけごはんは、衛生管理がしっかりしている日本だからこそできるのだが、それに対する理解もまだ浸透していないと感じた。</p>
<p>留学中および帰国後の活動を通じて最も成長した経験とそこから学んだこと ※事後研修事前課題・事後研修の内容を踏まえて記入してください ※具体的な経験エピソードをもとに記入してください</p>		<p>就職先のシカゴオフィス訪問を行い、各部門の責任者との対話を通して、そういったやり取りを含めて多くのことを学べた。まず、初めにファナック株式会社の日本のHuman Resource にコンタクトを取り、ファナックアメリカのHuman ResourceであるMs. Sue Harmonを紹介していただき、交渉を重ねて、12月とうとうオフィス訪問を行うことができた。世界でも通用するエンジニアになりたいという思いで今回トビタテに応募しましたが、こちらのオフィス訪問で、現実的に将来こちらを再訪問する可能性も大いにあり、どのような点で現在ファナックが他社と比べ優位性があり、また課題であるのかを現地の方との対話で自分なりに感じ取り、そちらを常に意識した上で来年の春から働き始めることができるので本当にいい経験ができたなと興奮する出来事であった。日本でこれから始め働いても、海外でもそれぞれの場所で動いている人がいること、その人たちと共に意見交換したことを意識して仕事に取り組めると思う。また、こういった経験を通して、きちんと段階を踏んだり、積極的な学ぶ姿勢、アプローチ、準備が非常に大事だと改めて感じた。</p>
<p>あなたにとっての留学の価値 ※事後研修事前課題・事後研修の内容を踏まえて記入してください</p>		<p>数多くの工場を訪問でき、その分色々な分野・ポジションの技術者と意見交換ができ非常に刺激的であった。個人的には、Pyromationという企業の訪問した一日が印象的であった。そちらでは先進的にTPSを導入し、長年リーンマネジメントに取り組んできて、私の研究室とも共同研究を行っている企業の一つである。その日は30社程度の技術者が集まり、JITなど取り入れた工場内のリーンマネジメントツアーのあと、全員でリーンマネジメントやエンジニアリングについて討論会を行った。また個人と話す機会もあり、将来ファナックで働くことなど話して、会社でファナック製品を使用している会社も多数あり、今後も連絡を取り合おうと多くの人と連絡を交換できた。またトビタテ2期で同期の船塚さん（シカゴ）と山田さん（シアトル）にヤドカリさせていただき、専攻こそ違えど同じ志を持つ仲間の話聞くことは大変刺激になった。天候、人、食べ物、文化すべてがインディアナとは違って、そういった風土を体験できたことが非常に大きな経験になったと感じた。</p>

●留学機運醸成に向けた活動

エヴァンジェリスト活動企画 ※事前課題P〇と研修で検討した内容をもとに記載してください	カテゴリ	イベント（支援企業）
	活動タイトル (30字以内)	運営幹事会への参加
	対象者・人数	支援企業および事務局スタッフ
	実施場所	東京国際交流館プラザ平成国際交流会議場
	実施時期	2016年3月10日
	内容	運営幹事会は、支援企業の中でも特に特に多大な寄附をいただいている企業の方々から構成される会議体で、今回が第4回目の開催で、これまで、派遣留学生ネットワークのあるべき姿はどのようなものか、どのようにネットワークがなされるべきか、グローバル人材育成はどのように行うべきか、支援企業としてどのようなことができるのか、といった論点を含めてトビタテ！留学JAPANに関する議題全てに関して議論を重ねてゆくといった内容。
	達成目標	達成目標としては、「トビタテ生が実際にどんな経験をして帰ってくるのか知りたい」「帰国後のトビタテ生が何をやっているのか知りたい」といった声に、直接派遣留学生からプレゼンテーション発表をする機会を頂き、その声に自分なりに回答し、意見を共有することを達成目標とする。
実施に向けたアクションプラン	SKYPEミーティング（依頼内容共有ミーティング、PPTフィードバックミーティング）により、発表の質の向上を目指す。	